



むさしだい

学校だより 12月号 Web

平成27年11月30日

中野区立武蔵台小学校

校長 戸崎 晃

「同じ」と「平等」

子供たちの自己肯定感を育むために

校長 戸崎 晃

人は一人一人違います。私たち大人は、一人一人違うことを理解し認めているからこそ、一人一人に違う対応をします。

何かしらいけないことをして叱らなければならないとき、悪かったことがわかり反省している場合は優しく、全然聞き入れないような場合は時に厳しく、状況に応じて声かけを変えています。良くなってほしいという目的を達成するために、その子に応じた対応をします。

ここで大切なことは、「同じ」ということと「平等」ということは違うということです。

例えば、生活面でも学習面でも、友達とのかかわりやコミュニケーションでも、より良くなってほしい・できるようになってほしいという私たち大人の願い・目標はどの子に対しても同じです。しかし、支援の方法は同じではありません。目標を達成するために、その子に合った、一人一人に応じた方法で支援していくことが必要であり、それを行うことが平等ではないかと思うのです。すべての子に同じ指導しか行わないのは平等ではないと考えます。

ときに、子供たちは「同じ」であることが絶対的正義・唯一の正解であると思っ

また、これだけ努力したのだからこれだけの結果が得られるのは当然だと自分自身の基準で対価を決定し、満足した結果が得られなかった場合には「他者や物のせいだ」と転嫁したり、「自分はダメなんだ」と自己否定をしたりします。

成長の過程の中で、「同じでなければならぬ」という考え方をもつ時期・結果に固執する時期があるのは自然なことかも知れません。だからこそ、大切なのはその時期の大人のかかわり方だと強く思います。

大人は経験上、努力しても結果に反映されないこともあることを知っています。どんなに自分を高めたとしても、他者との比較により自分にとって良い結果が得られないことがあることを知っています。体験をとおして、人は同じではないこと・一人一人違うことを痛感することを繰り返し、やがてありのままの自分自身を受け入れられるようになったのだと思います。そしてそれは、自己をより適切に成長させる出発点だったように感じます。

私たち大人が理解しておくべきことは、結果と人間性は一致するものではないということです。結果がダメだったからといって、その子自身がダメな訳ではありません。良さが失われるものではありません。

子供たちには、一生懸命生きている自分に自信をもってほしいと思います。何かうまくいかないことがあってくじけそうになっているときは、笑顔で、

《 私は、あなたががんばっている姿を見るのがうれしいんだよ。ありがとう。よくがんばったね 》

と気持ちを伝え、ほめてあげてください。

学芸会の見どころ

学芸的行事委員会 佐藤 恵子

「かっぱっこたち」

(1年生)

ある秋の日の昼過ぎ、小さな村のきれいな池の前でかっぱっこたちが相撲をとっていました。そこに村の子供たちがやってきて…。さあ、村の子供たちとかっぱっこたちは仲良くなるのでしょうか？

かわいい1年生が元気いっぱい演技します。小道具作りや効果音などの裏方の仕事も自分たちでやります。97人で劇を作り上げていきます。どうぞ、お楽しみに。

「はたけのしたは

おおさわぎ」

(2年生)

土の中で育つ野菜たち、もぐらたち、かえるたち、かみなりこぞうたちが登場し、それぞれに関わって物語が展開していきます。最後に、めぐみの雨が降ってきて畑がうるおい、野菜たちやかえるたちが生き生きしてきます。そして、話はめでたし、めでたしで幕が閉じます。一人一人が主役です。おもしろいところは笑ってお楽しみください。

「少年少女探検隊」

(3年生)

おうちの人たちに内緒で、宝物を探しに出かけた子供たち。光の矢が差す方へ進んでいきますが、行く先々で困難が待ち受けます。苦労の末、子供たちが見つけた宝物は何だったのでしょうか。

「大切なものは一人一人の中にある。」励まし合う仲間とハラハラドキドキの大冒険。歌を交えながら、3年生の元気と本気をお届けします。

「かしこいま～めけ村物語」

(4年生)

むか～しむかし、あるところにたいそうよくばりな殿様がいました。隣の国に金の山が見つかったと聞くと、どうしても手に入れたくなります。国中から兵を集めて戦を仕掛けようと考えますが、かしこい村人たちはなんとか役人たちを諦めさせようと考えます。

みんなの笑顔を見るために、舞台の全員が主役の喜劇です。たくさんの「拍手」だけでなく、たくさんの「笑い」をとりに行きます。

「魔法をすてたマジョリン」

(5年生)

魔女の世界では123歳。でも魔女としては小学生のマジョリン。ある日、子供が行ってはいけない魔女の夜祭りへ。そこで課せられた試験に合格するために、「人間たちを困らせるのがよい魔女」と「人間の心」との間で揺れることに。どうするマジョリン！本当に大切なものは何なのか…さあ、マジョリンと一緒に見つける旅にでかけましょう。5年生の心を込めた演技をご覧ください。

「夢から醒めた夢」

(6年生)

主人公のピコは好奇心旺盛で元気な女の子。ある時、幽霊の少女マコに出会い、1日だけ入れ替わることに。ピコが向かったのは幽霊が集まる「霊界エアポート」。そこで個性豊かな登場人物（幽霊？）に出会います。さて、この後ピコを待ち受ける出来事とは…？最高学年として迎える学芸会。6年生全員の心をひとつに、皆さんに感動をお届けします。ご期待ください。

青空給食が行われました

栄養士 中島恵理子

10月30日(金)、ぽかぽかと暖かい秋晴れの下、青空給食が行われました。縦割り班ごとに集まって芝生でお弁当給食を食べました。



全種類入ったことを確認してからふたをしてクラスごとに数えて教室へ運びます。

おかずごとに担当を決め、入れ忘れのないように入れていきます。



☆お弁当の中身は…

五目おこわ・ハンバーグ・うずらたまごのカレー煮・たけのことこんにゃくのおかか煮・ポイルキャベツ・ミニトマト・さつまいもの芋ようかん・花みかん・飲むヨーグルトです。

給食室では、作りたてを食べてもらえるよう時間ぎりぎり調理をし、お弁当箱に詰めていきます。彩りもきれいなお弁当が出来上がりました。子供たちはとても喜んで食べてくれました。

本校の研究について

【児童がクラスみんなに分かるように説明しています】

11月18日水曜日、6年生の研究授業がありました。単元名は「並べ方と組み合わせ」です。2クラスが3つの教室に分かれて、学習をしました。

今年の研究テーマは『自ら考え、表現できる子の育成』です。

上鷲宮小と北中野中の先生もお見えになり、6年生の子供たちが一生懸命自分の考えを説明する姿をご覧になって、表現力や発想の豊かさに「素晴らしいですね」とおほめの言葉をいただきました。

算数は積み重ねです。新しい問題でも前に習ったことを活用して考えてみると、解決できることが多いのです。

既習事項を自分で解決方法を考えたり、時には友達と相談したり、自分の考えをグループで発表し合うなどして思考力や表現力を磨いています。知識を身に付けるだけではなく、それをみんなに分かるように説明する力を高めることが大切です。学力を向上させるためには、「人に教えること」が最も効果的だと言われています。自分はわかっているつもりでも、それを人に分かるように説明するためにはワンランクアップした力が必要とされます。そういう力を育てていくために、学び合いの時間を重視し、ノートを整理し丁寧に書き、既習事項の振り返りをする習慣付けを今後も指導していきたいと思えます。

(研究主任 小久保美代子)



【12月の主な行事予定】

1	火	
2	水	音楽朝会（5年発表）午前授業
3	木	5年連合音楽会（北部）
4	金	
5	土	中野区立学校フラッグフットボール大会 午前9：00～午後3：00 若宮小
6	日	
7	月	安全指導朝会 委員会活動⑧
8	火	たてわり活動（朝） 体力向上縄跳びタイム始（～1月14日） 学芸会会場準備（6校時6年）
9	水	午前授業
10	木	学芸会リハーサル
11	金	学芸会（児童鑑賞日）
12	土	学校公開日（学芸会保護者鑑賞日） （8：00～12：10）
13	日	
14	月	全校朝会 学芸会会場片付け（5年）
15	火	5年社会科見学

16	水	午前授業 保護者会 4～6年 13：35～14：35 1～3年 14：45～15：45
17	木	児童集会 午前授業
18	金	特別時程午前授業 6年社会科見学
19	土	ウィンターコンサート（体育館）
20	日	
21	月	全校朝会 クラブ活動⑧
22	火	4年社会科見学
23	水	天皇誕生日
24	木	たてわり活動（朝）
25	金	午前授業 冬休み前朝会 給食終了 清掃後下校
26	土	冬季休業日始

【1月の主な行事予定】

7	木	冬季休業日終
8	金	午前授業 避難訓練（集団下校）
9	土	学校公開日（6年租税教室）